

第 22 回企画運営委員会（14.5.8）のまとめ

平成 26 年度最初の企画運営委員会は通算で 22 回目となり、5 月 8 日（木）に江南区役所多目的ホールで開催されました。

今回は、平成 26 年度の事業展開について事務局案を説明した後、具体的にどのように展開していくか、福祉の現場に関わる企画運営委員の意見を出し合い、検討を行いました。話し合いの内容は以下のとおりです。配付資料とあわせてご覧ください。

平成 26 年度事業の企画内容について

【配食サービスガイドブックのリニューアル】

- （事務局より）平成22年度に「配食サービスガイドブック」を作成したが、配食サービスの状況はかわってきており、今年度リニューアルする。
- 事務局側で区内へのサービスを展開する事業者の実態把握を行った後、区内でサービスを展開する配食サービス事業者の協力を募り、包括支援センターがある亀田、大江山・横越、曾野木・両川の3カ所で試食会及び意見交換を実施する。
- ガイドブックは平成26年中に作成し、12月に行う福祉のネットワークづくり交流会で地域内の関係者に配布する。福祉のネットワークづくり交流会では、6年間の取り組みを振り返るとともに今後の地域福祉の取り組みについて情報・意見交換を行う。
- 企画を進めるにあたり、内容に対して出された意見は以下の通りである。
 - 配食するだけでなく声掛けもできるのか、まとまった数でなくても頼めるのか、見守りについてなど、配食サービスを展開する事業者の生の声を聞きたい。
 - 「メイプルかめだ」さんではお弁当を作っており、それを利用しているいきいきサロンもある。このようなところを載せるのも良いのではないか？
 - 配食サービスを頼むことに後ろめたさを感じてしまう人もいると聞く。それを解消する方法を探りたい。
 - 利用する人の声を聞くために、企画を始める前に各地区での意見交換や説明が必要である。
- 実行委員会を作るにあたり、どのような人を実行委員とすればよいか？

→各包括支援センターから1人ずつ、保健師、民生委員、ケアマネージャー、コミュニティ協議会、企画運営委員から2人 等の意見が出た。

→地区への入り方など進め方も関係するため、いただいた意見をもとに事務局で検討し人選する。

○ （質問） 実行委員会の会議はどこで行うのか？

→実行委員会の人を見て決定する。

以上です。今回の意見交換の内容を踏まえ、今年度の事業を進めていくことになりました。今後ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。